

未来へ

To the Future



Report 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年5月27日、第3学年を対象に実施された標記調査の結果についてお知らせします。

【教科に関する調査】

○調査が実施された教科（国語・数学）では、**平均正答率が、全国及び県を上回っています。**

なお、教科の各領域の正答率を全国及び県と比べると、**上回っている領域や下回っている領域があります。**



<全国及び県を上回っている領域>

- ・国語 「読むこと」(例)登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する など
- ・数学 「数と式」(例)整式の加法と減法の計算ができる など

<全国及び県を下回っている領域>

- ・国語 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(例)相手や場に応じて敬語を適切に使う など
- ・数学 「関数」(例)事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる など

【生徒質問紙調査】

○生活習慣や学校生活などの質問では、**肯定的な回答の割合が、全国及び県を上回っています。**

○学習に対する主体性や興味・関心などの質問では、**肯定的な回答の割合が、全国及び県を下回っています。**

<全国及び県を上回っている項目>

- ・朝食を毎日食べているか
- ・毎日同じくらいの時間に起きているか
- ・人の役に立つ人間になりたいか
- ・学校に行くのは楽しいか
- ・友達と協力するのは楽しいか など

<全国及び県を下回っている項目>

- ・将来の夢や目標を持っているか
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか
- ・授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか
- ・各教科(国語・数学・英語)の勉強は好きか
- ・携帯電話・スマートフォン・コンピュータの使い方について、家の人との約束を守っているか など

本調査で得られた課題の改善を図るため、学校全体で次のような対策を行っていきます。

1 「学力の向上」に向けて

- ・読む力を高める読書活動の推進など、学力向上の成果につながっている取組をさらに継続、充実します。
- ・授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むために、本県の「熊本の学び推進プラン」に基づき「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進します。
- ・授業で、学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげるための「振り返り」の時間を充実します。

2 「学習に対する主体性の向上」に向けて

- ・各教科の学習が、実際の社会でどのように役に立つのかを見通すことのできる指導を工夫します。
- ・変化が激しい社会の未来の姿を知る機会や、これからの社会が解決していくべき課題について調べる機会を設定し、自分たちが生きる未来へ向けてどのような力を身に付けていくべきか考える学習を展開します。
- ・社会の様々な仕事について知り、仕事に触れる機会を設定します。

3 家庭学習について

- ・家庭学習の1週間の計画を立て、実践し、振り返るなど、見通しをもち、自分で評価する家庭学習の指導を行います。
- ・毎日一定の時間、集中して効率よく家庭学習ができるよう家庭と連携して指導していきます。

4 通信端末の使い方について

- ・インターネットにつながる通信端末(携帯電話・スマートフォン・コンピュータ・ゲーム機など)の使い方については、家庭でのルールづくりに必要な保護者向け研修や資料の提供をPTAと連携して行います。
- ・学校から持ち出すタブレット(iPad)については、学校または生徒自らが決めたルールに従って活用していきます。